

【10月・2歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (3歳6カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (3歳5カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (3歳4カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (3歳3カ月/7月生まれ)
子どもの姿	1. 一日を通して、パンツで過ごせるようになってきている。本児から「おしっこ」と尿意を伝えトイレに向かう回数も安定してきた。 2. 友だちと一緒に電車ごっこやボール遊びを楽しんでいる。 3. 「〇〇ちゃんと遊んだ」等、友だちの名前を出しながら出来事を伝えようとする。	1. 衣服の着脱を自分ですようとしますが、前後が逆になっていることが多い。保育者が直そうとすると嫌がる。 2. 戸外では、トンボを見たり、落ち葉を集めたりして楽しんでいる。 3. 家庭の都合で欠席することが多かった。登園した際に、母から離れられず、大声で泣く姿が見られる。	<p style="text-align: center;"> 無料版：2名分 ↓ 有料版の "おまもりプラス" は12名分が 閲覧&DL可能！ </p>	
ねらい	1. 自分からトイレに行き、排泄をする 2. 友だちと一緒に集団遊びや運動ゲームをする楽しさを味わう	1. 自分で身の回りのことをしようとする 2. 戸外で秋の自然物に触れることを楽しむ		
内容	1. 尿意や便意を保育者に知らせ、自分からトイレに向かおうとする。 2. しっぽ取りゲームやいす取りゲーム等、簡単なルールのある遊びを友だちと楽しむ。	1. 保育者に見守られながら、衣服の着脱に挑戦する。 2. 散歩や戸外遊びの中で、虫や植物に触れたり、観察をする。		
環境構成 配慮 援助	1. 本児から尿意や便意を伝えることができた時には、大いにその姿を認め、自信になるように関わる。トイレの使い方が身に付くように、丁寧に伝えていく。 2. 簡単なルールのある遊びの中で、友だちと身体を動かして楽しめるように誘っていく。遊びに十分なスペースを確保し、安全面に配慮しながらのびのびと遊べるように環境を整えていく。	1. 本児の意欲を尊重しながら、様子を見守っていく。「リボンが前になるように着てみようか」等声を掛けながら、さりげなく衣服の前後を確認して置いたり、正しい向きで着れるように援助をする。 2. ドングリや落ち葉を見つけ、一緒に観察しながら形や大きさの違い等の発見に共感していく。「さつまのおいも」「おちばきょうそう」等、秋の自然物や虫等が登場する絵本や紙芝居を用意し、親しみを持てるようにする。		
食事	・フォークやスプーンの持ち方が上手持ちになっている。 ・「こうやって持つとカッコいいよ」等、声をかけながら、正しい持ち方が身に付くように関わる。	・他児よりも早く食べ終わると、後ろを向いたり、席を立とうとしたりする姿が見られる。 ・食べ終わった後に過ごすスペースを作り、ゆったりと待つことができるようにする。		
家庭の連携	3. 降園時に園での様子を伝えながら、家庭で会話のきっかけとなるようにしていく。 ・朝夕と日中の気温差が大きくなってきているため、薄手の上着を用意してもらう。	3. 登園した際には明るく迎え、休み中の様子等を聞きながら、安心して利用してもらえるように配慮していく。 ・園での様子についても、細かく伝えることで、本児の様子について情報共有をしていく。		
評価・反省	1. 本児から尿意を伝えてトイレに向かう場面が多く見られた。自分から尿意を伝えて排尿できた際には、大いに褒め、自信に繋がるよう関わった。引き続き、男子便器の使い方等を繰り返し伝えていきたい。 2. しっぽ取りゲームでは、しっぽを取られたことに怒り、友だちとトラブルになる場面があった。ルールを伝えつつも、まずは集団遊びの楽しさや身体を動かすことの心地よさを感じられるように、遊びの内容を工夫していきたい。	1. 自分から進んで衣服の着脱に取り組みもうとしていた。衣服の絵柄や装飾を目印にしなが、正しい向きで着られるようになってきているため、引き続き、本児の意欲を大切にしながら丁寧に知らせたい。 2. コスモスやオナモミ等の植物に興味を持ち、保育者や友だちと一緒に触れて楽しんでいた。花や植物の図鑑を用意し、興味や関心を伸ばせるように関わっていききたい。		

子どもの姿の1, 2は『内容/ねらい/環境構成・配慮・援助』、3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記: LGBTQ+の観点から、『くん』『ちゃん』などを使わず、『さん』で統一しています。ただし、発達段階の観点では性差はあると考えられるため、男児/女児としています。